

## 第1章 基本的事項

### 第1節 地域医療構想策定の趣旨

- 2025年にはいわゆる「団塊の世代」が全て75歳以上となり、全国的に医療や介護の需要が急激に増大することが見込まれており、その対応が急務となっています。
- また、少子高齢化、人口減少が急速に進む中、世代間の負担の公平性を高めながら、子や孫の世代まで、安心して医療・介護サービスを受けることができる国民皆保険制度を維持していくことが求められています。
- このような背景から、国において、少子高齢化の進展に伴う疾病構造の変化に対して、平成25年8月の「社会保障制度改革国民会議報告書」において、病気と共存しながら生活の質（QOL）を維持・向上させることを目的として、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築を進めていく方向性が示されました。
- こうした医療需要の増大や医療を取り巻く環境の変化に対応していくため、平成26年6月に成立した「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（平成26年法律第83号。以下「医療介護総合確保推進法」という。）」の公布・施行を受け、「地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針（平成26年厚生労働省告示第354号。以下「医療介護総合確保方針」という。）」が示されました。この中で都道府県は、将来的な医療需要を踏まえた「地域医療構想」を作成し、病床の機能の分化及び連携を推進し、市町村と連携しつつ質の高い医療提供体制を整備すること及び地域包括ケアシステムの構築を支援すること等が求められています。
- 本県は、全国に先んじて高齢化が進展してきたところですが、将来（2025年）の医療需要の動向を把握し、その将来像を踏まえた医療提供体制の構築を目指すとともに、QOLの維持・向上に向けた医療の充実を図っていくため、医療介護総合確保推進法の施行に伴い改正された医療法（昭和23年法律第205号）及び医療法施行規則に基づき、「島根県地域医療構想」を策定します。

## 第2節 地域医療構想の性格

- 島根県地域医療構想は、医療法第30条の4第2項の規定により、島根県が作成する保健医療計画の一部として位置付けられています。
- 島根県地域医療構想は、県、市町村、医療・介護関係者、保険者、住民の方々等が、2025年に向けた医療需要の変化の状況を共有し、地域の実情に対応した医療提供体制の構築に向けた検討を進めるためのものです。
- 構想で推計する将来の必要病床数（病床の必要量）はあくまでも目安であり、地域で実際に必要となる病床数は、救急医療機能など各医療機関が担う機能等を考慮して、構想策定後もそれぞれの地域・医療機関において継続的に検討されるべきものです。

## 第3節 地域医療構想の期間

- 地域医療構想の期間は、現行保健医療計画の残期間にあわせ、構想策定から平成29年度までとします。
- なお、平成30年度を初年度とする第7次島根県保健医療計画の策定においては、島根県地域医療構想についても見直しを行います。

## 第4節 地域医療構想の策定及び進行管理に係る基本的な考え方

### (1) 課題解決に向けた議論の重視

- 地域医療構想で定める「将来の必要病床数」については、医療法施行規則に基づく算定方法により、平成25年度の「医療需要」、「性年齢階級別人口（住民基本台帳）」及び「性年齢階級別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）」のデータを用いて、全国一律の基準によって算定したものです。
- したがって、「将来の必要病床数」は、あくまでも将来あるべき医療提供体制を議論する上での一つの目安であり、その議論の過程で地域の課題を明らかにして、その解決に向けた施策の方向性を議論することが重要です。

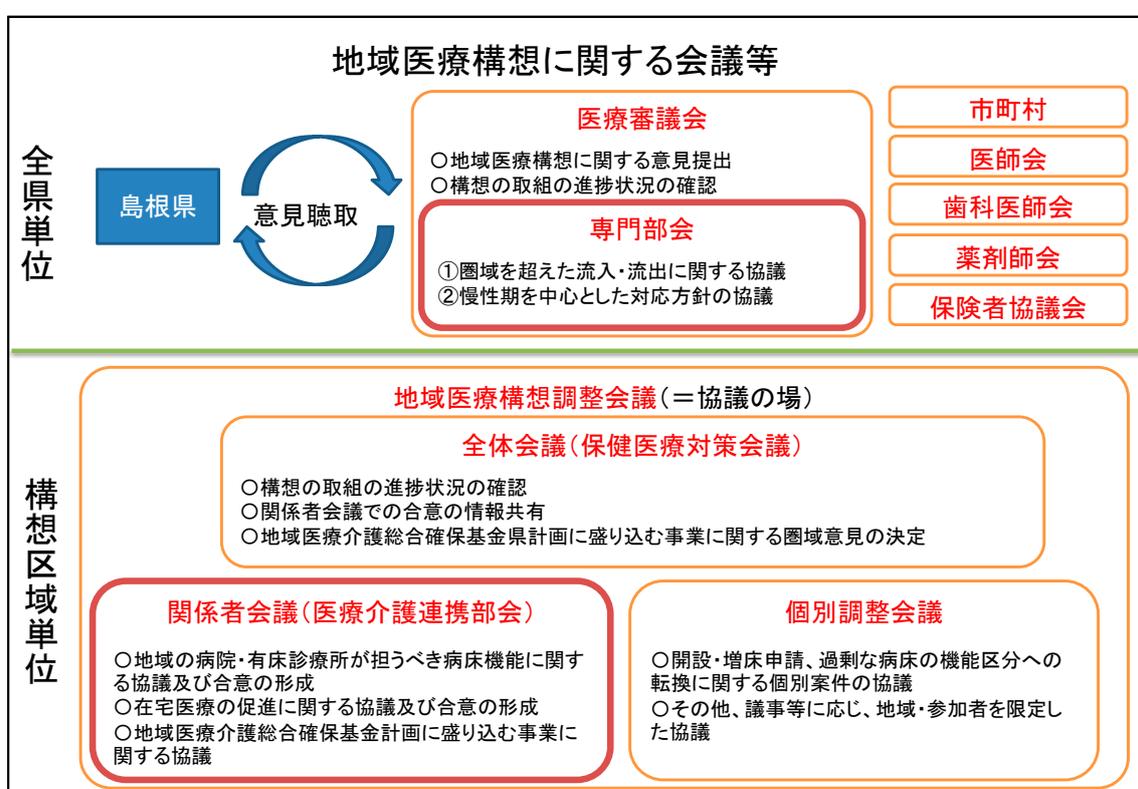
### (2) 客観的データの提示

- 国によって将来の推計人口に基づく医療需要の算定方法が定められるとともに、地域医療構想の策定に先立ち運用が開始された「病床機能報告制度」により、各医療機関の医療機能に関する情報が明らかにされました。
- 地域医療構想の策定及び進行管理においては、こうした客観的なデータを提示し、関係者の共通理解を促進し、各医療機関が地域においてそれぞれの役割や運営方針を検討していくための基盤とします。

(3) 関係者による協議の場の設置と活用

- 地域医療構想は、それぞれの地域の実情に応じた医療・介護の提供体制の構築に向け、地域課題の抽出とその解決に向けた施策の方向性について整理するものであるため、策定段階から県全体の協議の場を設置するとともに、構想区域毎にも関係者による協議の場を設置しました。
- 協議の場において、県、市町村、医療・介護関係者、保険者、住民の方々等の参加を得て検討を行うことで、それぞれの組織・機関の自主的な取組や相互の連携を継続的に促進していくこととしています。

図表 1 地域医療構想に関する検討体制

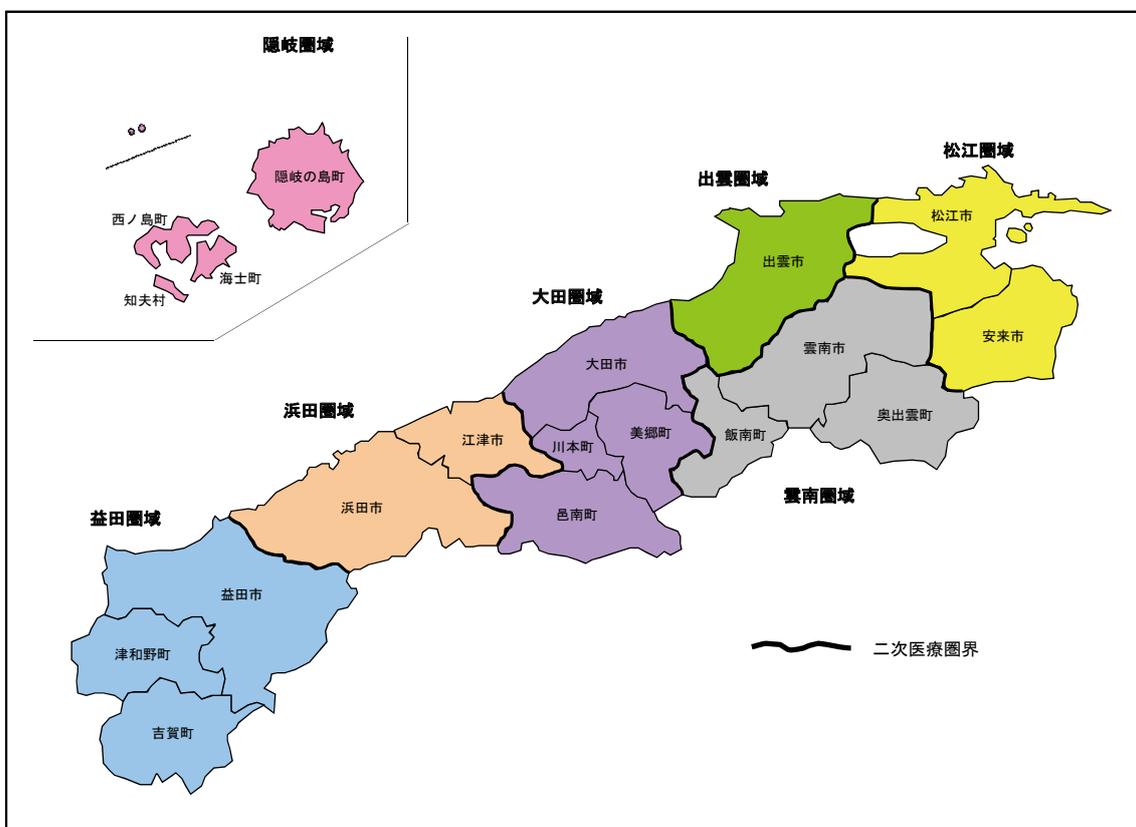


## 第2章 島根県の概況

### 第1節 地勢・交通

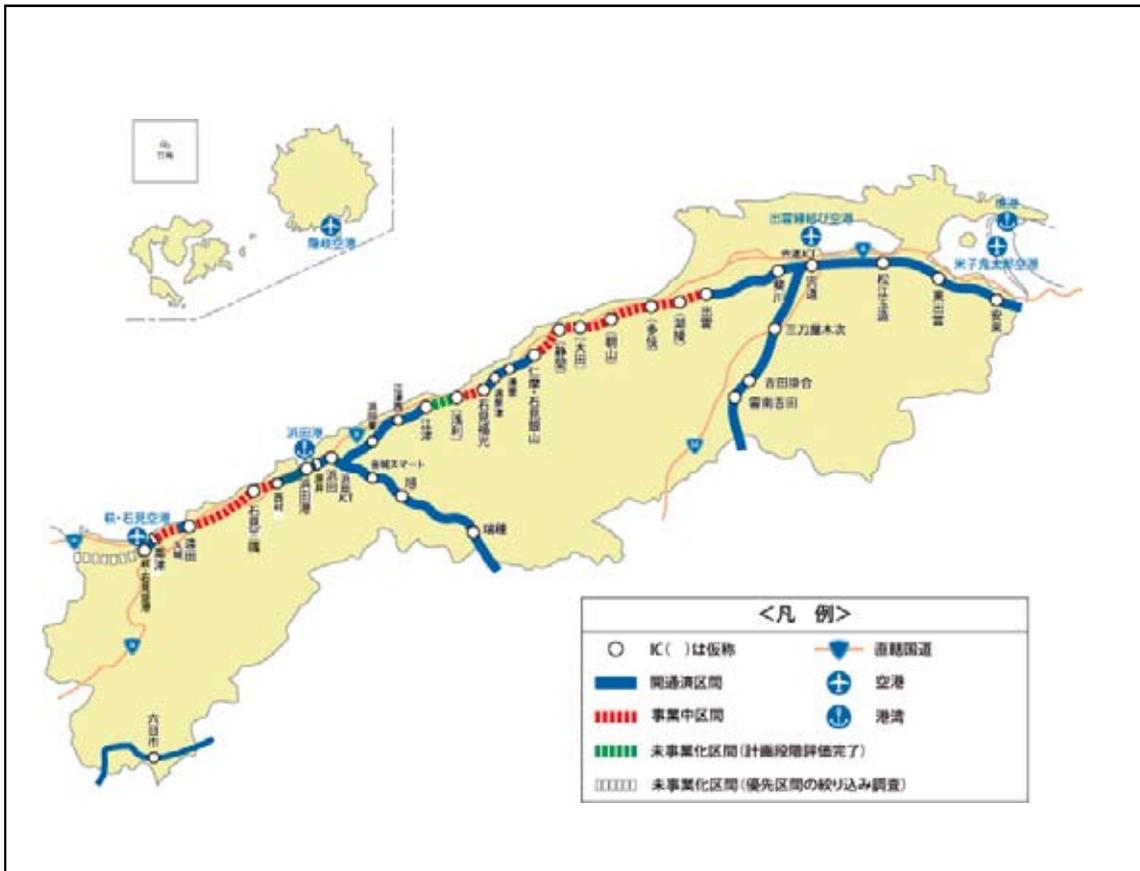
- 本県は、総面積 6,707.95 km<sup>2</sup>、東西に細長く延長は約 230 kmに及び、島根半島の北東約 40~80 kmの海上には隠岐諸島が点在するなど、気候、風土が異なる多様な地域からなっています。
- また、中国山地が日本海まで迫り、平野に乏しく、県土の約8割を林野が占めており、山間部は千メートル級の高さを背に奥深い山地を形成しています。

図表2 二次医療圏



- 東西に細長く、公共交通機関の発達が十分でないため、移動のほとんどを自動車に頼っています。しかし、県内高速道路の整備は、山陽側や全国と比べて大幅に遅れています。
- また、県の東西を結ぶ幹線道路は対面2車線の国道9号のみのうえ、事故や災害による全面通行止め規制が毎年30回前後にのぼり、救急搬送等に支障をきたしています。

図表3 高速道路の整備状況



資料：「島根県の高速道路（平成28年4月1日現在）」（島根県土木部高速道路推進課）

## 第2節 人口・面積

○地域医療構想における医療需要推計の出発点である、平成25年3月の住民基本台帳に基づく人口によると、本県の総人口は713,134人で、全国46位となっており、年々減少してきています。

○年齢階級別人口割合は、0～14歳（年少人口）が12.7%、15～64歳（生産年齢人口）が57.3%、65歳以上人口（老年人口）が30.0%、75歳以上人口（後期高齢者人口）が17.3%であり、後期高齢者人口割合は全国1位となっています。後期高齢者人口割合を二次医療圏別にみると、大田圏が最も高く、いずれの区域も全国平均を上回っています。

図表4 圏域別人口及び面積

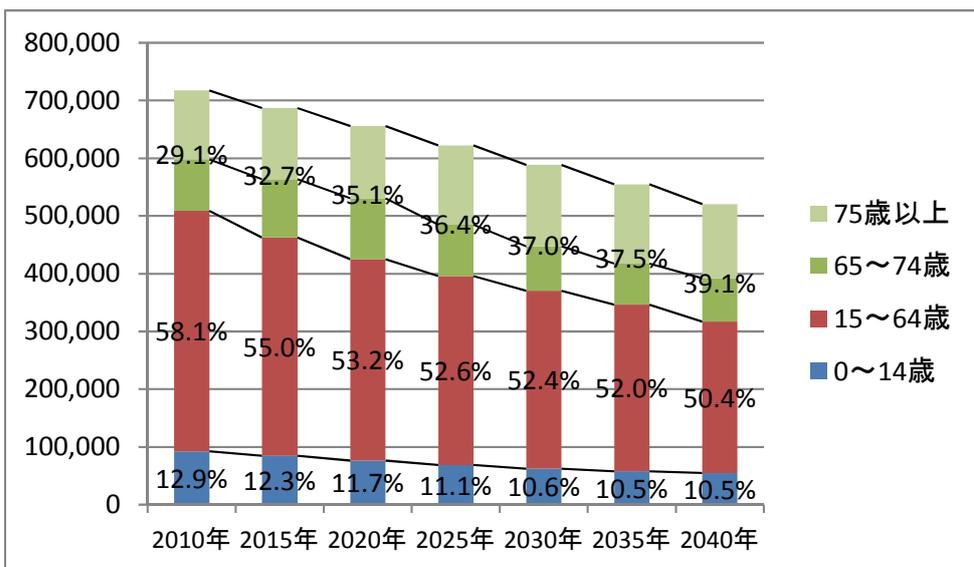
	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	年齢別人口割合(%)			
				0歳～ 14歳	15歳～ 64歳	65歳以上	(再掲) 75歳以上
全国	128,373,879	377,950.10	339.7	13.1	62.8	24.1	11.8
島根県	713,134	6,707.95	106.3	12.7	57.3	30.0	17.3
二次医療圏							
松江(松江市・安来市)	247,729	993.96	249.2	13.5	59.8	26.7	14.6
雲南(雲南市・奥出雲町・飯南町)	61,613	1,164.27	52.9	11.2	53.8	34.8	21.9
出雲(出雲市)	174,702	624.12	279.9	14.0	59.4	26.6	15.1
大田(大田市・川本町・美郷町・邑南町)	58,860	1,244.65	47.3	10.8	52.0	37.2	23.3
浜田(浜田市・江津市)	83,990	958.11	87.7	11.7	55.4	32.9	19.2
益田(益田市・津和野町・吉賀町)	64,919	1,376.62	47.2	11.7	53.9	34.3	20.3
隠岐(海士町・西ノ島町・知夫村・隠岐の島町)	21,321	346.22	61.6	10.7	52.6	36.6	21.9

資料：「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成25年3月31日現在）」（総務省自治行政局）

- 「日本の地域別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所、平成25年3月推計）によると、島根県の全人口は、平成22年を100とした場合に、平成37年では86.7、平成52年では72.6と減少すると推計されていますが、75歳以上人口は、平成22年を100とした場合、平成37年では114.8に増加するものの、平成52年では107.8と減少に転じると予測されています。

図表5 年齢階級別人口の推計

年次	人口(人)					割合(%)			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	(再掲) 75歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	(再掲) 75歳以上
2010年	717,397	92,293	416,556	208,548	119,442	12.9	58.1	29.1	16.6
2015年	687,105	84,707	377,654	224,744	123,354	12.3	55.0	32.7	18.0
2020年	655,482	76,516	348,927	230,039	125,144	11.7	53.2	35.1	19.1
2025年	621,882	68,775	326,963	226,144	137,168	11.1	52.6	36.4	22.1
2030年	588,227	62,352	308,169	217,706	140,665	10.6	52.4	37.0	23.9
2035年	554,624	58,050	288,435	208,139	136,911	10.5	52.0	37.5	24.7
2040年	520,658	54,813	262,238	203,607	128,799	10.5	50.4	39.1	24.7



資料：2010年は「国勢調査」（総務省統計局）、2015年～2040年は「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

### 第3節 医療機関・介護保険施設・医療従事者の状況

#### (1) 病院、診療所の施設数と病床数

- 人口10万人対の施設数では、全国平均に比較して病院数も診療所数も多くなっていますが、歯科診療所数は全国平均に比べ少なくなっています。
- 人口10万人対の病床数では、病院では全国平均を上回っていますが、診療所では全国平均を下回っています。
- 全国的な傾向として、近年、有床診療所の施設数と病床数が減少しており、本県においても、ほとんどの二次医療圏で同様の傾向が見られます。

図表6-1 医療圏別医療施設数及び病床数

	病院									一般診療所			歯科診療所施設数		
	施設数			病床数						施設数		病床数			
	総数	精神	一般	総数	精神	感染症	結核	療養	一般	総数	有床			無床	
全国	8493	1067	7426	1568261	338174	1778	5949	328144	894216	100461	8355	92106	112364	68592	
島根県	52	8	44	11003	2324	30	33	2274	6342	723	48	675	545	274	
二次医療圏	松江	16	3	13	4115	931	6	25	694	2459	245	17	228	174	92
	雲南	5	1	4	702	100	4	-	193	405	53	-	53	-	21
	出雲	11	2	9	2774	478	6	-	611	1679	163	12	151	116	59
	大田	4	-	4	728	168	4	-	178	378	72	7	65	91	23
	浜田	9	1	8	1431	410	4	-	333	684	95	11	84	145	37
	益田	5	1	4	1094	215	4	8	241	626	74	1	73	19	31
	隠岐	2	-	2	159	22	2	-	24	111	21	-	21	-	11

資料：「平成26年度医療施設調査（平成26年10月1日現在）」（厚生労働省）

図表6-2 医療圏別医療施設数及び病床数（人口10万対）

	人口10万対施設数			人口10万対病床数							
	病院	一般診療所	歯科診療所	病院					一般診療所		
				精神	感染症	結核	療養	一般			
全国	6.7	79.1	54.0	1234.0	266.1	1.4	4.7	258.2	703.6	88.4	
島根県	7.5	103.7	39.3	1578.6	333.4	4.3	4.7	326.3	909.9	78.2	
二次医療圏	松江	6.5	99.5	37.4	1670.8	378.0	2.4	10.2	281.8	998.4	70.7
	雲南	8.6	91.3	36.2	1209.0	172.2	6.9	-	332.4	697.5	-
	出雲	6.5	95.6	34.6	1627.7	280.5	3.5	-	358.5	985.2	68.1
	大田	7.2	129.6	41.4	1310.8	302.5	7.2	-	320.5	680.6	163.8
	浜田	10.7	113.4	44.2	1708.8	489.6	4.8	-	397.6	816.8	173.1
	益田	8.0	118.5	49.6	1751.5	344.2	6.4	12.8	385.8	1002.2	30.4
	隠岐	9.8	102.5	53.7	775.9	107.4	9.8	-	117.1	541.6	-

資料：「平成26年度医療施設調査（平成26年10月1日現在）」（厚生労働省）

#### (2) 病院病床の利用状況

- 病院の一般病床の利用率は、県全体で見ると全国平均と比較してやや高くなっています。二次医療圏別にみると、大田圏が極端に低くなっていますが、近年、徐々に回復の傾向を示しています。
- 一方、病院の療養病床の利用率は、県全体で見ると全国平均と比較してやや低くなっています。二次医療圏別にみると、益田圏で低くなっています。
- 一般病床の平均在院日数は、全国平均と比較して長い傾向にあります。二次医療圏

別にみると、松江圏が最も長く、次いで雲南圏となっており、出雲圏と隠岐圏は短くなっています。大田圏を除いては、いずれの圏域においても徐々に短くなってきています。

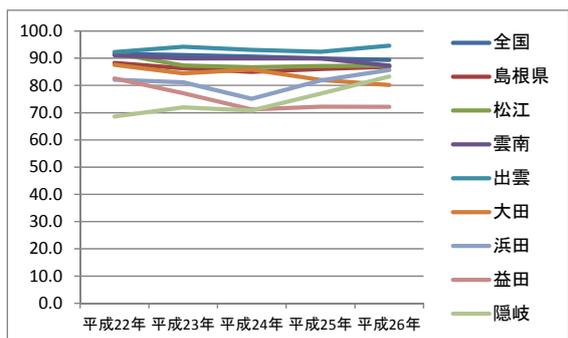
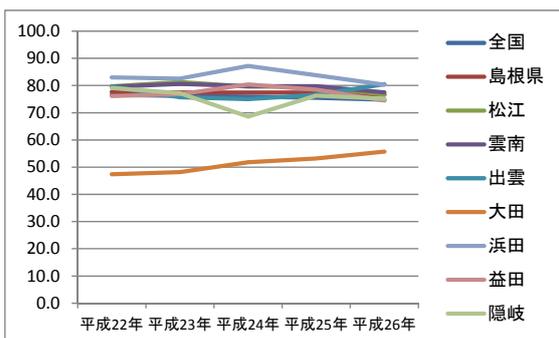
○療養病床の平均在院日数は、全国平均と比較して短い傾向にあります。二次医療圏別にみると、大田圏、浜田圏、益田圏で長い傾向がありますが、近年、急速に短くなってきています。隠岐圏は極端に短くなっています。

図表 7 - 1 病床利用率の推移

	一般病床 病床利用率(%)				
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全国	76.6	76.2	76.0	75.5	74.8
島根県	77.7	77.4	77.4	77.4	76.6
松江	79.7	81.3	79.6	79.6	76.7
雲南	79.5	80.6	79.8	79.8	77.5
出雲	79.6	75.7	75.0	76.6	80.5
大田	47.4	48.2	51.8	53.2	55.7
浜田	83.0	82.6	87.2	83.8	80.3
益田	76.1	76.8	80.4	78.5	74.5
隠岐	79.1	77.2	68.6	76.3	75.2

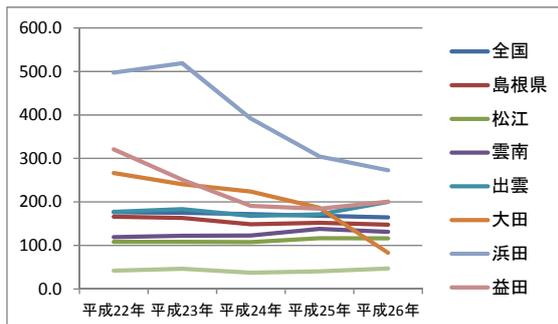
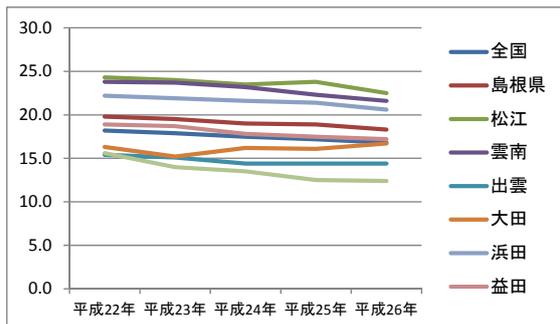
	療養病床 病床利用率(%)				
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全国	91.7	91.2	90.6	89.9	89.4
島根県	88.3	86.3	85.0	86.0	86.9
松江	91.8	87.3	86.7	87.2	87.3
雲南	91.1	89.9	89.9	89.9	87.3
出雲	92.3	94.2	93.1	92.4	94.6
大田	87.6	84.5	85.9	82.0	80.2
浜田	82.1	81.2	75.1	81.9	85.7
益田	82.6	77.2	71.2	72.2	72.1
隠岐	68.6	72.0	70.8	77.0	83.3



資料：「病院報告」(厚生労働省)

図表 7 - 2 平均在院日数の推移

	一般病床平均在院日数(日)					療養病床平均在院日数(日)				
	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
全国	18.2	17.9	17.5	17.2	16.8	176.4	175.1	171.8	168.3	164.6
島根県	19.8	19.5	19.0	18.9	18.3	166.1	163.3	148.6	152.1	147.9
松江	24.3	24.0	23.5	23.8	22.5	108.1	107.9	107.5	116.7	116.4
雲南	23.8	23.7	23.2	22.3	21.6	119.2	122.1	123.0	138.0	131.5
出雲	15.4	15.1	14.4	14.4	14.4	177.3	183.4	167.9	171.7	200.3
大田	16.3	15.2	16.2	16.1	16.7	266.5	240.7	224.1	186.6	83.1
浜田	22.2	21.9	21.6	21.4	20.6	497.0	518.9	391.6	304.4	272.9
益田	18.9	18.7	17.8	17.5	17.2	320.9	251.2	191.2	184.5	200.7
隠岐	15.6	14.0	13.5	12.5	12.4	42.2	46.2	37.3	40.3	47.1



資料：「病院報告」（厚生労働省）

### (3) 介護保険施設等の定員数

○介護保険施設・高齢者向け住まいの定員数は 15,797 人で、75 歳以上千人当たり 129.6 人となっています。

図表 8 - 1 介護保険施設・高齢者向け住まい定員数

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	計
介護老人保健施設定員(人)	894	191	654	336	480	352	70	2,977
介護老人福祉施設定員(人)	1,586	660	1,028	620	619	509	270	5,292
認知症対応型共同生活介護定員(人)	689	126	522	167	207	171	72	1,954
有料老人ホーム定員(人)	879	68	559	106	267	61	-	1,940
養護老人ホーム定員(人)	160	208	130	200	223	190	160	1,271
軽費老人ホーム(ケアハウス)定員(人)	550	-	150	100	50	150	-	1,000
サービス付高齢者住宅定員(人)	758	64	295	127	55	64	-	1,363
合計	5,516	1,317	3,338	1,656	1,901	1,497	572	15,797

資料：「介護保険施設・高齢者向け住まい定員数（平成 28 年 4 月 1 日現在）」（島根県健康福祉部高齢者福祉課）

図表 8 - 2 介護保険施設・高齢者向け住まい定員数（75 歳以上人口千人当たり）

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	平均
介護老人保健施設定員(人)	24.4	14.7	24.7	26.0	30.8	27.5	15.7	24.4
介護老人福祉施設定員(人)	43.3	50.7	38.9	48.0	39.7	39.8	60.4	43.4
認知症対応型共同生活介護定員(人)	18.8	9.7	19.7	12.9	13.3	13.4	16.1	16.0
有料老人ホーム定員(人)	24.0	5.2	21.1	8.2	17.1	4.8	-	15.9
養護老人ホーム定員(人)	4.4	16.0	4.9	15.5	14.3	14.8	35.8	10.4
軽費老人ホーム(ケアハウス)定員(人)	15.0	-	5.7	7.7	3.2	11.7	-	8.2
サービス付高齢者住宅定員(人)	20.7	4.9	11.2	9.8	3.5	5.0	-	11.2
合計	150.6	101.2	126.3	128.2	121.8	117.0	128.1	129.6

資料：「介護保険施設・高齢者向け住まい定員数（平成 28 年 4 月 1 日現在）」（島根県健康福祉部高齢者福祉課）

#### (4) 医療従事者数

- 人口10万人に対する医師数は279.3人と、全国の244.9人を上回っています。しかし、地域偏在があり、雲南圏(130.9人)、大田圏(181.9人)、浜田圏(223.3人)、益田圏(200.1人)及び隠岐圏(170.8人)において全国を下回っている現状があります。
- 人口10万人に対する歯科医師数は59.1人と、全国の81.8人を下回っています。
- 人口10万人に対する薬剤師数は182.9人と、全国の226.7人を下回っています。特に、雲南圏(101.6人)と隠岐圏域(112.2人)において低い状況で、地域偏在がみられます。
- 人口10万人に対する就業看護職員数は、保健師66.3人、助産師40.9人、看護師1132.0人、准看護師446.8人と、いずれの職種においても全国値を上回っています。しかし、二次医療圏ごとにみると、雲南圏と大田圏では助産師と看護師が全国値を下回るなど、地域偏在がみられます。

図表9 人口10万対の医療従事者数

	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
全国	244.9	81.8	226.7	38.1	26.7	855.2	267.7
島根県	279.3	59.1	182.9	66.3	40.9	1132.0	446.8
松江	262.7	59.3	183.1	63.7	37.8	1157.2	365.4
雲南	130.9	55.1	101.6	91.3	18.9	771.5	478.8
出雲	455.3	57.5	225.3	45.2	62.8	1383.0	383.2
大田	181.9	59.4	154.8	93.6	25.2	792.2	578.0
浜田	223.3	60.9	182.7	54.9	39.4	1073.5	642.4
益田	200.1	64.0	190.5	75.2	32.0	1149.5	539.5
隠岐	170.8	58.6	112.2	146.4	34.2	868.6	424.5

資料：「医師・歯科医師・薬剤師調査（平成26年12月末現在）」（厚生労働省・島根県健康福祉部健康福祉総務課）

「衛生行政報告例（平成26年12月末現在）」（厚生労働省・島根県健康福祉部健康福祉総務課）

#### (5) 医療従事者の年齢構成

- 医師は、全国と比較し、若年層の占める割合が低く、45歳以上の医師の占める割合が高くなっています。特に、30歳から34歳の割合が極端に低くなっています。
- 歯科医師は、医師よりもさらに全国との構成割合の差が顕著であり、60歳以上の占める割合が非常に大きくなっています。
- 薬剤師は、40～49歳の割合が非常に低く、中堅層が少ないことが分かります。
- 各職種とも、構想区域による年齢構成割合の差が非常に大きくなっています。（第5章参照）

図表 1 0 医療従事者の年齢構成

【医師】

	年齢階級														
	総数	～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～
全国	311205	564	25984	33283	33497	35180	35208	36462	34814	26515	19133	10910	8078	5998	5579
島根県	1947	3	159	151	207	200	228	249	234	193	141	71	47	33	31
松江	647	1	46	32	58	54	89	93	79	76	54	22	19	14	10
雲南	76	-	1	3	2	6	9	8	10	17	11	4	1	2	2
出雲	776	2	96	91	116	101	83	88	80	50	33	19	3	8	6
大田	101	-	1	2	7	7	9	16	20	10	12	5	2	4	6
浜田	187	-	9	11	15	16	19	29	21	10	17	17	15	4	4
益田	125	-	4	5	6	15	16	14	21	21	11	4	5	1	2
隠岐	35	-	2	7	3	1	3	1	3	9	3	-	2	-	1

【歯科医師】

	年齢階級														
	総数	～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～
全国	103972	151	6985	9526	10155	11350	11844	13380	13987	10807	7813	3359	2160	1263	1192
島根県	412	-	8	27	34	44	42	46	55	55	39	24	14	10	14
松江	146	-	2	12	12	15	17	18	18	24	12	3	4	5	4
雲南	32	-	-	-	1	4	2	3	8	5	4	-	2	1	2
出雲	98	-	4	10	9	11	10	17	8	13	6	3	2	2	3
大田	33	-	-	1	4	5	4	-	2	5	4	5	2	-	1
浜田	51	-	-	1	3	5	4	3	10	4	8	6	3	1	3
益田	40	-	1	1	5	4	4	3	7	3	5	5	1	-	1
隠岐	12	-	1	2	-	-	1	2	2	1	-	2	-	1	-

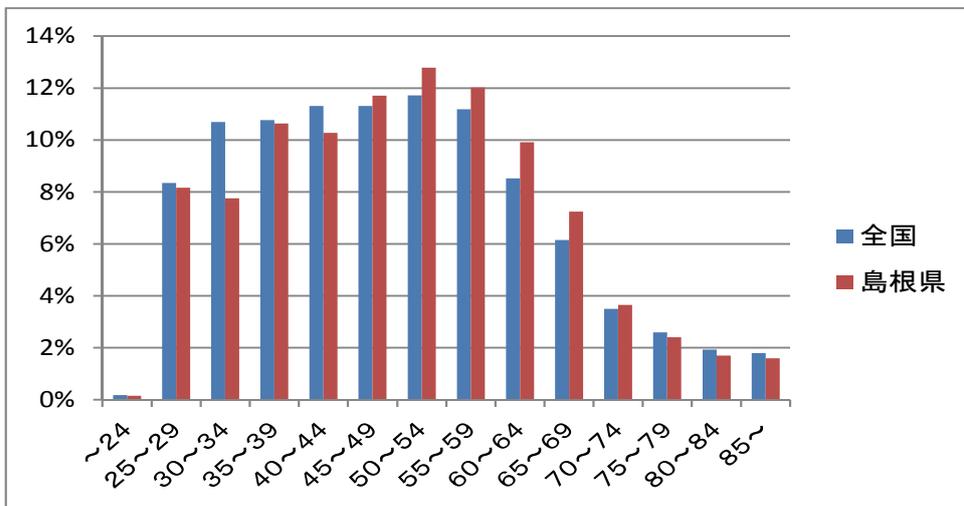
【薬剤師】

	年齢階級														
	総数	～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～
全国	288151	1146	37617	37870	35600	35152	33359	30356	29493	19969	14029	6448	3724	2091	1297
島根県	1,275	10	170	195	169	122	88	126	115	120	80	35	19	15	11
松江	451	5	57	66	63	39	32	50	42	42	25	13	9	5	3
雲南	59	-	2	11	12	6	1	3	1	9	9	1	-	2	2
出雲	384	4	69	70	49	34	26	26	39	34	21	8	2	1	1
大田	86	-	11	13	7	9	7	7	4	9	8	4	3	2	2
浜田	153	-	17	20	22	20	17	20	14	9	7	3	3	-	1
益田	119	1	11	11	16	14	5	16	14	16	6	5	1	3	-
隠岐	23	-	3	4	-	-	-	4	1	1	4	1	1	2	2

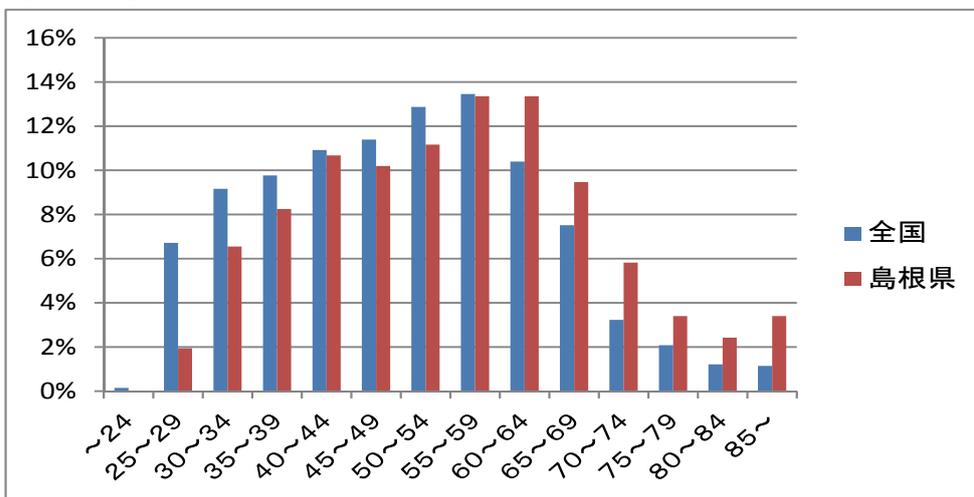
資料：「医師・歯科医師・薬剤師調査（平成 26 年 12 月末現在）」（厚生労働省・島根県健康福祉部健康福祉総務課）

図表 1 1 医療従事者の年齢構成割合

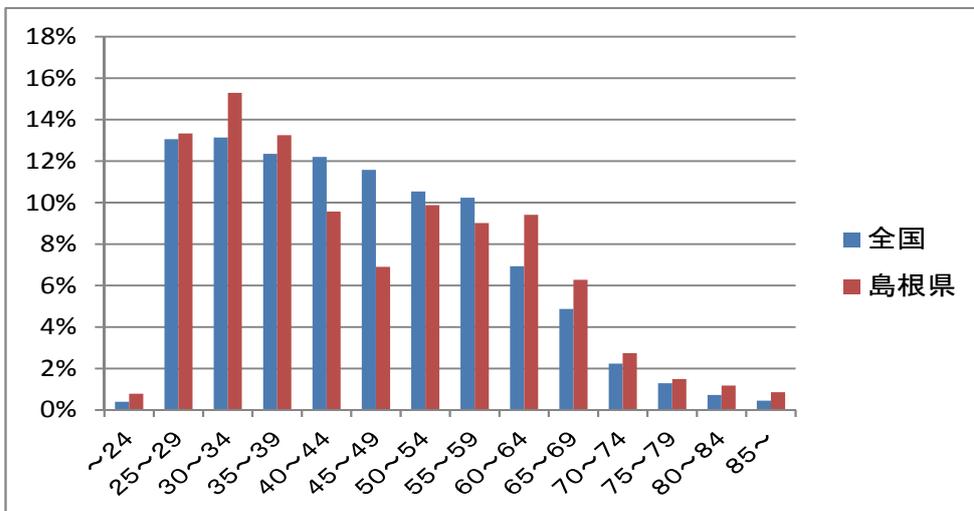
【医師】



【歯科医師】



【薬剤師】



資料：「医師・歯科医師・薬剤師調査（平成 26 年 12 月末現在）」（厚生労働省・島根県健康福祉部健康福祉総務課）

## 第4節 在宅医療の状況

### (1) 在宅療養を支える機関

○24時間体制で在宅患者に対応している在宅療養支援診療所数は132カ所、在宅療養支援病院は6カ所、在宅療養後方支援病院は4カ所となっています。

○また、在宅療養支援歯科診療所は113カ所、在宅患者訪問薬剤管理指導料届出薬局数は292カ所となっています。

図表1-2 在宅療養を支える機関数

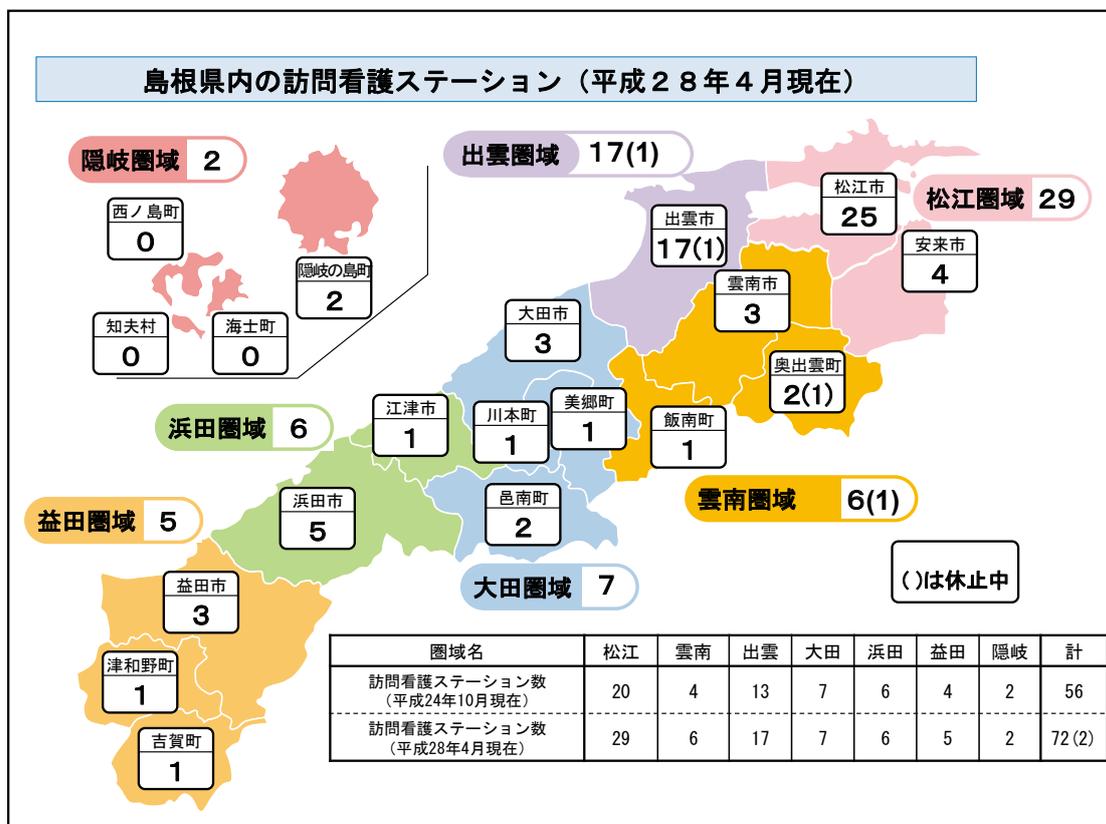
圏域	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	在宅療養支援診療所			在宅療養支援歯科診療所	在宅患者訪問薬剤管理指導料届出薬局
			機能強化型				
			単独型	連携型			
松江	2	2	48	-	1	37	90
雲南	-	1	7	-	1	12	16
出雲	1	-	28	1	4	25	70
大田	1	-	8	-	3	13	20
浜田	-	1	27	1	3	11	52
益田	1	-	11	-	-	13	41
隠岐	1	-	3	-	-	2	3
計	6	4	132	2	12	113	292

資料：「施設基準の届出受理状況（平成28年4月1日現在）」（中国四国厚生局）

○医師の指示書に基づき訪問看護を行っている訪問看護ステーションは、平成28年4月現在、県内に72カ所あります。

○訪問看護ステーションは、県西部及び中山間・離島地域において少ない現状にありますが、こうした地域における訪問看護ステーションは、訪問看護を担う看護師の不足や、対象患者の自宅間の移動に時間がかかることなどの課題を抱えています。

図表 1 3 訪問看護ステーション数



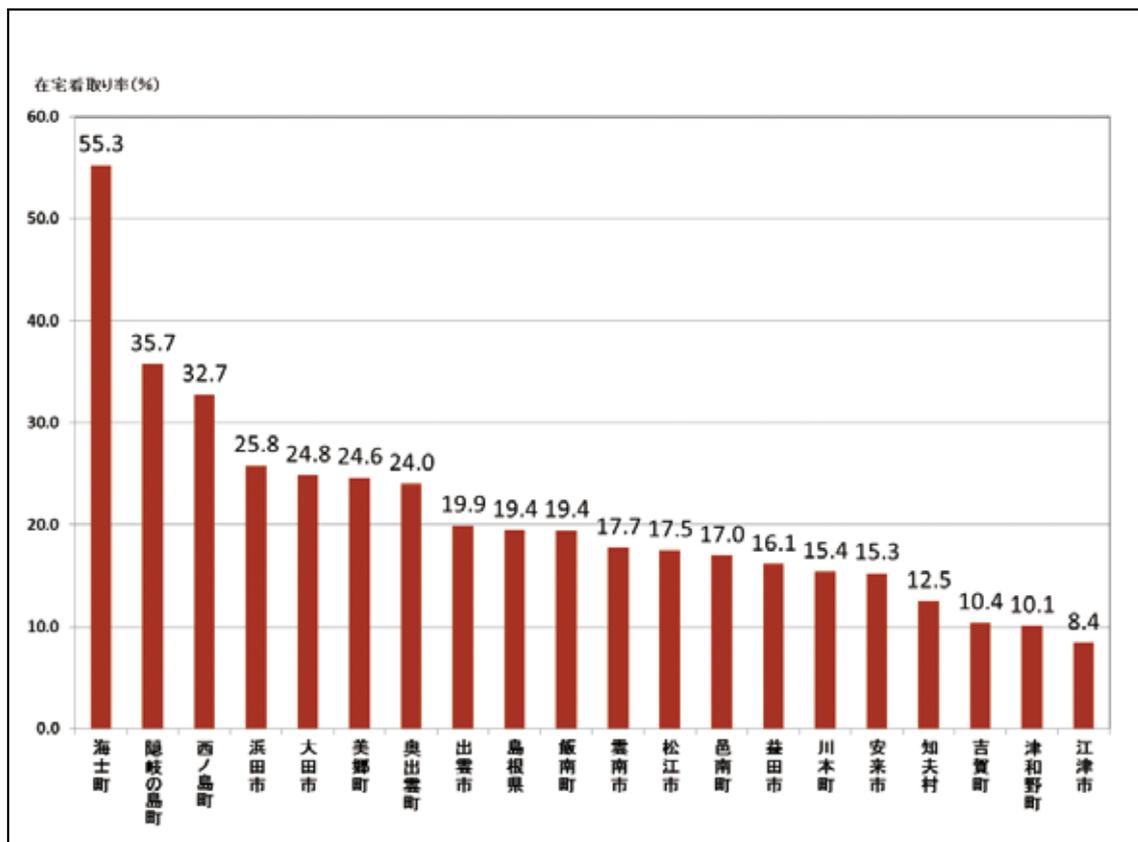
資料：「島根県内の訪問看護ステーション（平成28年4月1日現在）」（島根県健康福祉部高齢者福祉課）

(2) 死亡場所別にみた死亡割合の状況

- 平成25年において、自宅での死亡割合は10.8%で、全国の12.9%を下回っています。
- 自宅に老人ホーム（養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホーム）を含めた在宅看取り率は19.4%で、全国の18.1%を上回っています。
- 在宅看取り率は、海士町の55.3%から江津市の8.4%まで、県内でも市町村によって大きな差があります。

図表 1 4 市町村別の死亡場所別にみた死亡割合

	看取り施設内(%)						看取り施設外(%)			在宅看取り率(%)
	病院	診療所	介護老人 保健施設	助産所	老人ホーム		自宅	その他	自宅+ 老人ホーム	
全国	85.0	75.6	2.2	1.9	-	5.3	15.0	12.9	2.2	18.1
島根県	87.3	75.3	0.8	2.5	-	8.7	12.7	10.8	1.9	19.4
松江市	89.1	77.5	0.2	3.0	-	8.3	10.9	9.2	1.7	17.5
安来市	86.7	80.8	0.7	0.9	-	4.3	13.3	11.0	2.3	15.3
雲南市	86.9	78.1	0.2	2.7	-	6.0	13.1	11.8	1.3	17.7
奥出雲町	89.2	75.2	-	-	-	14.0	10.8	10.0	0.8	24.0
飯南町	95.1	77.7	-	1.9	-	15.5	4.9	3.9	1.0	19.4
出雲市	87.0	75.6	0.3	2.6	-	8.5	13.0	11.5	1.6	19.9
大田市	84.0	65.7	5.4	1.5	-	11.3	16.0	13.6	2.5	24.8
川本町	81.5	76.9	-	3.1	-	1.5	18.5	13.8	4.6	15.4
美郷町	85.4	71.5	-	0.8	-	13.1	14.6	11.5	3.1	24.6
邑南町	89.9	68.8	0.5	12.8	-	7.8	10.1	9.2	0.9	17.0
浜田市	83.3	69.8	0.6	1.7	-	11.3	16.7	14.4	2.2	25.8
江津市	93.3	82.2	2.0	4.7	-	4.5	6.7	4.0	2.7	8.4
益田市	87.6	79.3	1.8	-	-	6.5	12.4	9.6	2.8	16.1
津和野町	89.9	85.8	0.6	1.8	-	1.8	10.1	8.3	1.8	10.1
吉賀町	91.1	83.7	-	5.2	-	2.2	8.9	8.1	0.7	10.4
隠岐の島町	86.7	58.2	-	4.0	-	24.5	13.3	11.2	2.0	35.7
海士町	63.2	39.5	2.6	-	-	21.1	36.8	34.2	2.6	55.3
西ノ島町	78.2	65.5	-	-	-	12.7	21.8	20.0	1.8	32.7
知夫村	75.0	62.5	12.5	-	-	-	25.0	12.5	12.5	12.5



資料：「平成 25 年人口動態統計」（厚生労働省）

## 第5節 患者の受療動向

### (1) 高度急性期の自圏域内完結率推計

- 高度急性期において、出雲圏域では自圏域内完結率（患者が居住する同じ圏域内の医療機関に入院する割合）が約95%と高いですが、雲南圏域・大田圏域・隠岐圏域では20～30%台となっています。
- 松江圏域（主に安来地域より）・隠岐圏域からは、鳥取県西部圏域へ10%程度の患者流出があります。

図表15 2025年度の高度急性期の自圏域内完結率推計（現在の流出入状況が続いた場合）

		医療機関所在地							
		自県							他県
		松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	鳥取県西部
患者居住地	松江	79.8%	-	5.7%	-	-	-	-	12.3%
	雲南	18.6%	26.5%	50.4%	0.1%	-	-	-	1.0%
	出雲	2.2%	0.2%	95.3%	-	-	-	-	0.4%
	大田	2.2%	0.1%	50.5%	22.8%	9.2%	-	-	0.1%
	浜田	1.3%	-	13.7%	0.5%	70.6%	3.4%	-	0.9%
	益田	0.4%	-	9.8%	-	2.5%	68.9%	-	0.3%
	隠岐	34.5%	-	14.4%	-	-	-	35.9%	8.6%

資料：「必要病床数等推計ツール」（厚生労働省）

### (2) 急性期の自圏域内完結率推計

- 急性期において、松江圏域・出雲圏域では自圏域内完結率が約90%と高いですが、雲南圏域・大田圏域・隠岐圏域では40～50%台となっています。
- 大田圏域・浜田圏域・益田圏域からは、広島県広島圏域へ一定の患者流出があります。また、山口県萩圏域から、益田圏域に一定の患者流入があります。

図表16 2025年度の急性期の自圏域内完結率推計（現在の流出入状況が続いた場合）

		医療機関所在地								
		自県							他県	
		松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	鳥取県西部	広島県
患者居住地	松江	88.0%	0.1%	2.7%	-	-	-	-	8.1%	0.1%
	雲南	15.7%	51.8%	29.6%	0.1%	-	-	-	0.5%	0.3%
	出雲	4.0%	0.5%	94.1%	0.1%	-	-	-	0.3%	0.1%
	大田	3.8%	0.2%	32.8%	40.2%	11.0%	0.1%	-	0.1%	7.6%
	浜田	1.6%	-	7.5%	1.1%	81.1%	2.9%	-	0.4%	3.9%
	益田	0.3%	-	3.3%	-	1.7%	80.7%	-	-	4.4%
	隠岐	29.5%	0.1%	6.9%	-	-	-	53.5%	4.9%	-

資料：「必要病床数等推計ツール」（厚生労働省）

(3) 回復期の自圏域内完結率推計

- 回復期の自圏域内完結率について、大田圏域・隠岐圏域では40～50%台となっています。
- 松江圏域（主に安来地域より）・隠岐圏域からは、鳥取県西部圏域へ一定の患者流出があります。また、大田圏域・浜田圏域・益田圏域からは、広島県広島圏域へ一定の患者流出があります。

図表 1 7 2025 年度の回復期の自圏域内完結率推計（現在の流出入状況が続いた場合）

		医療機関所在地									
		自県							他県		
		松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	鳥取県西部	広島県広島	
患者住所地	松江	86.9%	0.2%	2.3%	-	-	-	-	-	9.6%	0.2%
	雲南	11.6%	71.2%	15.2%	0.1%	-	-	-	-	0.5%	0.1%
	出雲	5.5%	0.6%	92.3%	0.1%	-	-	-	-	0.4%	0.3%
	大田	6.6%	0.1%	21.6%	42.9%	13.4%	-	-	-	0.1%	10.8%
	浜田	3.3%	-	7.1%	1.0%	75.8%	4.1%	-	-	0.8%	6.0%
	益田	0.6%	-	2.9%	-	1.0%	79.7%	-	-	0.1%	4.7%
	隠岐	26.5%	-	6.0%	-	-	-	55.6%	-	5.8%	0.2%

資料：「必要病床数等推計ツール」（厚生労働省）

(4) 慢性期の自圏域内完結率推計

- 慢性期の自圏域内完結率について、雲南圏域・大田圏域では40%台となっています。
- 大田圏域・浜田圏域・益田圏域からは、広島県広島圏域へ一定の患者流出があります。また、益田圏域から、山口県萩圏域に一定の患者流出があります。

図表 1 8 2025 年度の慢性期の自圏域内完結率推計（現在の流出入状況が続いた場合）

		医療機関所在地									
		自県							他県		
		松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	鳥取県西部	広島県広島	山口県萩
患者住所地	松江	90.7%	2.1%	3.0%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	2.3%	-	-
	雲南	29.0%	48.1%	18.8%	-	-	-	-	-	0.6%	-
	出雲	10.0%	0.2%	88.2%	0.1%	0.4%	-	-	-	0.2%	-
	大田	11.3%	-	7.3%	44.3%	13.7%	-	-	-	13.2%	-
	浜田	1.4%	-	0.9%	4.9%	68.9%	2.4%	-	-	18.1%	0.1%
	益田	1.3%	-	0.4%	-	17.2%	61.8%	-	-	5.8%	8.1%
	隠岐	17.9%	-	0.3%	-	0.2%	-	68.6%	-	-	-

資料：「必要病床数等推計ツール」（厚生労働省）